

第71回車座集会（幸区）結果概要

1 開催概要 日時 令和7年1月11日（土） 10:00～12:00
場所 幸区役所4階会議室

(1) テーマ等

自分たちのまちは、自分たちで守る
～地域防災力強化に向けた消防団充足率の向上～
現役の幸消防団員や地域の学生等と意見交換を行いました。

- ◆消防団からの説明
- ◆参加者によるQ&Aセッション
- ◆意見交換①
世間のイメージと実態の差を埋める取組について
- ◆意見交換②
入団促進に向けた方策について

(2) 参加者、傍聴者

計18名（参加者12名、傍聴者6名）

2 アンケート結果

2ページ以降参照

3 意見交換の概要等

6ページ以降参照

第7 1回車座集会（幸区）アンケート集計結果

回答率：83%
参加者 10/12人

●今回の実施内容について

問1 本日のテーマはいかがでしたか。

(参加者)

よい	よくない	どちらともいえない
10	0	0

参考：(傍聴者)

よい	よくない	どちらともいえない
1	0	0

問2 本日参加いただいた御感想を教えてください。

(参加者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
10	0	0

参考：(傍聴者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
1	0	0

問3 今後の消防団の持続可能な活動に向けて、本日の車座集会で心に残った発言や本日の議論を踏まえて、消防団に対する意識や考え方の変化など

- (参加者) ✓ハードルが下がった。一つ一つ出来ることを増やせる大切なものであると感じた。
- ✓消防団に対してのハードルが下がった。
できるときにやれることだけやることができる。時間的負担が少ない。
 - ✓女性や学生でも参加できることを知って、考え方に大きな変化がありました。地域の人たちと深く関わるにあたって、とてもすてきな活動で魅力的でした。楽しい会で勉強になりました。ありがとうございました。
 - ✓意外としがらみのない新しい考え方を取り入れている組織だと感じた。
 - ✓「地域は自分たちで守る」という意識をいかにして持つことができるのか、現実的には意識が高い方を中心として、今、意識の低めの方々をどう巻き込んでいけるのか（義務化の検討も必要か？）という視点で施策を検討できると良いかもしれません。
 - ✓昔から厳しいイメージがあったので「できる時にできる事をできる人がやる」というフレーズは印象的でした！もっと前面に出していてもいい気がします。
 - ✓「学校などで説明会や授業などをしてくれたら、もっと若い人が興味・関心を持ってくれると思う」と、学生の方が発言してくれたことです。
 - ✓消防団員として参加させていただきましたが、消防団員の募集の手法のアドバイス、チラシでも募集内容の記載（例えば女性消防団員募集とか）色々なバージョンの募集チラシがあると良いこと、また、きっかけがなかったら、どんなことをしているか知らなかったり、身近な地域で見える化が必要で、見学もオープンに出来るような取組が必要だと思いました。御意見をいただき今後活かしていきたいと思いました。

問3 今後の消防団の持続可能な活動に向けて、本日の車座集会で心に残った発言や本日の議論を踏まえて、消防団に対する意識や考え方の変化など

(参加者) ✓車座集会を通じて消防団の今の姿を大勢の方に知ってもらうことができたと思います。一般の市民の抱いている消防団のイメージを知って、思っていた以上に理解されていないと再認識するとともに、これからも一層な丁寧な広報をしなければならないと痛感した。今回参加者から自治会への直接的な働きかけや防災訓練を通じて理解を進める、また高校、大学の生徒会とのコラボ活動の提案、更には一般参加者からは仮に消防団員になったら「ある日の1日はこんなタイムスケジュール」のように具体的にライフスタイルをポスターなどで広報したらわかりやすいのでは？との提案や、商店主の方からは店舗へのポスター掲示協力など具体的な提案をいただきました。幸消防団広報の一環としてインスタを始めましたので多くの方にそのことを知っていただくアイデアを聞く募集をしております。

参考：
(傍聴者) ✓消防団のイメージが全く変わりました。生徒引率で来たのですが、私自身の学びが多く、また、私も人の助けになるようなことをしたいと考えているので、もっと詳しく知りたいと思いました。まず、知ることが大切ですね。2人から学校長に提案させる方向にもっていったらと思います。

問4 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見など

(参加者)

- ✓ 自転車のマナー
- ✓ ごみ問題
- ✓ 地域防災について
- ✓ 地域防災力について（町内会や消防団、関係機関との話など）
- ✓ 地域の夢見ヶ崎動物園の魅力について
- ✓ 商店街の活性化について
- ✓ 自分たちの住んでいる地域で地域包括ケアシステムを考えていこう！
- ✓ 子育て世帯向けの助成がいろいろ増えているがいまいち現役世代に浸透していない気がするので、「この助成はこんな申請が必要」「こんな人はこんな助成が受けられる」というような事が学べるテーマがあると嬉しいです。
- ✓ 地域の防災リーダーとして期待されている防災士の方々がより一層地域の中で理解、周知され地域防災組織の一員として大事なパーツになる仕組みづくりの具体化に向けて車座集会を通じて話し合うと良いと考えております。
- ✓ 地域コミュニティの向上

車座集会（意見交換）での主な意見・成果

第1部の主な意見

【高校生】

- 同世代が活躍していることを知らなかった。
- 授業や部活と両立が厳しそうなど、時間的に厳しいイメージがあった。

【大学生】

- ボランティアのイメージがあり、報酬が出ることを知らなかった。
- 幸区のことを何も知らない地方出身者が入っても良いことを知らなかった。

【区内在住者】

- 機能別団員はそもそも知られていないので、もっとPR必要。
- 直接会って話を聞くことが大事（イメージが変わる）。
- 個々に求める消防活動のハードルが下がっていることのメッセージを伝えることが重要。
- 女性の消防団員がいることを知らなかった。女性が活躍しているポスターがあるとよい。

【消防団】

- 体育会系の規律が厳しいイメージがあったが、実際入団してみたら、風通しが良く、良いギャップがあった。
- 社会人の方とコミュニケーション取る機会も増えて自分の成長にも繋がっていると思う。

第1部の成果（共有できたこと）

- ✓ （消防団）一般の方が消防団にどのようなイメージ（忙しい・年配の人ばかり・男性社会・厳しい）を持っているのか具体的に知ることができた。
- ✓ （消防団以外の参加者）幸消防団においては、規律や指導などが思っていたよりも厳しくないこと、また、熱い想いを持って、地域のために活動してくれていることが分かった。
- ✓ 地方出身者でも入団できる空気感を伝えること(心理的ハードルを無くすこと)が重要。
- ✓ 消防団員の生の声を発信することが、イメージを変えることに有効。
- ✓ 負担の少ない「機能別団員」をもっとPRすることで、大変というイメージは軽減できると思う。
- ✓ 学生といった若い世代や女性も消防団として活躍していることをアピールすることで、イメージが変わると思う。

車座集会（意見交換）での主な意見・成果

第2部の主な意見

【高校生】

- ・ 「学生消防団員活躍中」、「できる時にできるだけ」という言葉はとても“キャッチー”なので、人の目に付くところ、学校などに掲示すると良い。
- ・ 高校の授業のコマを使って消防団の講習会（学生消防団のルーティンを知る機会や体験会）をしてみても良い。

【大学生】

- ・ 地域のために何かしたいと思っている看護大学の学生も多いため、そういった層に向けて、大学で説明会を開催してみても良い。
- ・ 若い世代や女性が実際に何人（パーセント）いるか分かると具体的なイメージが湧きやすい。

【区内在住者】

- ・ 短く分かりやすい「消防団員の一日の流れ（社会人バージョン・学生バージョン）」を動画を作成して、SNSで流してみても良い。
- ・ 地域を知る・地域ともコミュニケーションを取れるきっかけにもなることをアピールすべき。
- ・ SNSも大事だけれども、実際に会って話すことも必要。

【消防団】

- ・ 小さいお子さんがいても活動できる消防団でないといけないと思う。
- ・ 体験型のイベントを検討していたので、自主防や学校とやりたい。

第2部の成果（共有できたこと）

- ✓ （消防団）今まで消防団員ゆえの目線で様々な取組を行っており、PRをする中身や、やり方であったり、一般の人の目線でやるのが重要だということ大きな気づきを得た。
- ✓ 「学生消防団員活躍中」というポスターを学校（高校・大学）に掲示したり、授業などで消防団をPRすると良い。
- ✓ 「体験入団・お試し入団」などを実施し、そこから幸消防団の良さを知ってもらうことで、入団促進に繋がると思う。
- ✓ 消防団員の一日のルーティン動画（社会人バージョン・学生バージョン）を作成して、それを使って広報することは効果的だと思う。
- ✓ 小さいお子さんがいるママも活躍している実態をPRすると良い。
- ✓ 入団することで、自分の住んでいる地域を知ったり、地域の人たちと繋がるきっかけにもなることをアピールすることは良いと思う。

今後の取組

短期的な取組
(令和6～8年度)

➤ 大学・高校に、学生向けポスターを校内に掲示

- ・「幸高校」、「看護大学」、「川崎総合科学高校」に掲示

➤ 大学・高校の授業等で、「消防団の生の声」を届ける

- ・「幸高校」において、3月10日10時～12時の地域防災の講義の時間で、学生に年齢の近い若手消防団員が活動を紹介する予定
- ・「看護大学」においても、来年度の学生向けオリエンテーション等で、消防団をPRする時間を作れないか調整中



＜幸高校＞



＜看護大学＞

➤ 幸消防団の実態が分かりやすい動画（学生バージョン、社会人バージョンなど）を作成し、情報発信

- ・今後、消防団員の一日ルーティン動画を作成予定
(学生バージョン：令和7年3月作成予定、社会人バージョン：令和7年6月作成予定)
- ・車座集会で流した動画「幸消防団員に聞いてみた！」を幸区役所YouTubeチャンネルに投稿

➤ 「体験入団」の実施

- ・（これまでもまずは見学からという方が多かったが、）「体験入団」というフレーズを使って、気軽さをアピールする。

➤ 対象者に合わせたポスターの作成

- ・“キャッチー”な言葉を用いた「できる時にできるだけ」、「入団することで地域を知れる」、「ママは“ヒーロー”」、「体験入団実施中」、「公務員でもできる」等のポスターを作成（現在作成中）



➤ 区内企業と連携した情報発信

- ・「(株)北野書店」と連携し、鹿島田駅前の北野書店の自動ドア等ガラス張り一面にポスター5枚程度を掲示予定

➤ 自主防災組織に対し、消防団をPR

- ・「幸区自主防災連絡協議会」総会において消防団の活動をPR予定（令和7年5月中旬実施予定）

➤ 市政だより特別号を活用して、消防団の広報を実施

- ・市政だより特別号「さいわい広報特別号」（テーマ：地域防災力の強化）において、幸消防団を特集（令和7年3月発行）



充足率向上に向けて、上記の取組を「プロジェクトチームバージョン2」にて検証
(令和9年度実施予定)

消防団の持続可能な体制の構築へ

中長期的な取組